

ます。ショッピングセンターなどでの投票はコストの面などで慎重な協議が必要です。

**市立医療施設の充実・市民との協同で医師を励まし、医師確保ができる地域づくりを**



ちき子 田美津  
議員

**質問** 総務省の「公立病院改革ガイドライン」は、①経営の効率化、②病院機能の再編・ネットワーク化、③経営形態の見直しの3つの視点を示しましたが、これは医師・看護師不足の解消など「医療崩壊」の根本的な対策を放棄し、国民のいのちと健康を守るといふ地域医療体制の充実・確保の視点など全くありません。これから、地域医療・水沢病院については「採算性・経済性」のみの議論ではなく、市長の責任で市立医療施設を充実させ、市民との協同による医師を励まし医師確保が出来る地域づくりこそが重要だと考えますが、市長の見解を伺います。

**市長** 水沢病院等の運営面では、改革プランにより国の支援を受けて不良債務等を解消することが今後重要だと考えています。また、医療や勤務医の過酷な実態を適切に知らせていくことが重要で、今後住民運動の盛り上がり、医師

確保の上でも重要であり、関係の皆様のご協力を頂きながら進めてまいります。

**質問** いま、自治体業務の民営化・市場化による住民の生命・身体への影響、個人情報漏洩、文化水準の低下と、官製ワーキングプアの問題も指摘されていますが、どのようにお考えですか。

**市長** 指定管理制度の導入は自治体の責任の果たし方として問題はなく、地域経済に好影響を及ぼすのではないかと考えます。官製ワーキングプアについては、低賃金問題と直接結びつくとは考えていません。



「医療を考える市民の会」が結成されました（2月24日）

岩手県競馬事業運営について  
北上川治水と  
世界遺産について  
衣川中学校整備について



たかし 高橋  
議員

**質問** 昨年は当初計画の売上が達成できず、3回のコスト調整を行い7億8千5百万円を削減下方修正し、3千9百万円の黒字となったが、黒字分の運用はどうするか。存廃基準はどこか。関係者からのコスト見直し協力が得られるか。競馬が廃止の場合、関係団体、個人に補償は発生するのかお伺いします。

**市長** 黒字分は事業資金に積立。収支均衡達成見込みがない場合は廃止となる。コスト協力は得られる。廃止の時は競馬関係者との協議となるが、補償は発生する。

**質問** 北上川治水対策と世界遺産について、白鳥館、長者ヶ原廃寺跡は、引き続き発掘調査の必要があると思うがいかがか。森下から瀬原までの道路及び田中線の整備計画着工はどうなっているか。景観形成、遺跡、周辺案内についてお伺いします。

**市長** 北上川治水については予算がつき順次整備される。2遺跡については重要遺跡であり発掘調査を続ける。森下からの道路は県と



衣川中学校グランド予定地

協議中である。田中線は本年度に整備する。景観は景観条例に基づき保存と保全に万全を期し進めていく。

**質問** 衣川中学校グランド整備時に洗面施設、脱衣室、照明、プール、収納庫等の設備が必要と思いますが伺います。

**教育委員長** グランド内設備については中学校検討会議にて検討実施されるものと思う。